

新規利用登録団体紹介

新たな社会課題解決の潮流とは？  
企業とNPOが互いの「得意」生かす  
—専門講座開催報告—

■特定非営利活動法人

日本タンゴセラピー協会

市民を対象に、アルゼンチンタンゴの音楽、ステップ、ペアダンス特有のふれあいを使ったタンゴセラピー文化活動を行い、ストレスの解消、高齢者のQOL改善やリハビリテーション、認知症予防、自立、健全な心身育成を推進し、地域福祉社会の発展に寄与することをめざした団体です。タンゴセラピスト養成講座を開催しています。

<http://tangotherapy.wixsite.com/japan>

■特定非営利活動法人

ブリッジフォースマイル

市民、主に児童養護施設退所者と職員などを対象とした自立支援等を行う団体です。企業や学校、地域社会に働きかけ、社会の全体の支援を施設につなぐ架け橋となることで、退所者が自分らしく生き、したい仕事ができ、夢と希望と生きがいをもって暮らせる社会をめざしています。退所後に必要な生活の知識やスキル習得のためのセミナーや就労体験や進学支援、個別支援などを行っています。

<https://www.b4s.jp/>

■特定非営利活動法人

戦没者遺骨早期収容促進協議会

先の大戦における未だ収容されていない海外ならびに国内激戦地での未帰還兵の捜索、戦没者の確認ならびに放置された遺骨の早期収容の実現をめざす団体です。情報収集や整理、拠点整備などを行い、政府への協力や働きかけ、関係団体のネットワーク構築なども行っています。

<http://sssk.jp/>

企業とNPOが互いの「得意」を生かして新たな活動を創造する。そんな「共創」をどのように生み出していけばいいの—。2017年10月からスタートした専門講座は全3回シリーズ。第1回と第3回は、株式会社エンゲージメント・ファースト 代表取締役の原裕さんと同社Chief Shared Value Officerの萩谷衛厚さんを、第2回は認定NPO法人ACE事務局長・理事の白木朋子さんをお招きし、開催しました。



世界的には、企業の社会との関わり方は、これまでのCSR(企業の社会的責任)から、CSV(共有価値の創造)へと変化しています。ビジネスモデルで社会価値を作ること、社会を根本から変えていくことが求められる時代になっています。

児童労働問題に取り組む認定NPO法人ACEでは、カカオ豆の栽培が児童労働によって支えられている現状を変えるため、お菓子メーカーと協働しています。大規模なプログラムになるまでの経緯、企業と連携する上でのコツや、苦悩についてお話を伺いました。



最終回は参加者間でワークを行い、企業とNPOの連携による共創アイデアを考えました。アイデアの検討の際には、以下のチェック項目を考慮しました。

ビジネスインパクトがあるか？／社会的課題の解決に寄与しているか？／企業の業務ノウハウや強みを活かすことができるか？／寄付や慈善事業に留まっていないか？／取引先や地域社会等マルチステークホルダーと共に進めているか？

複雑化・多様化する社会課題を解決するには、自分たちにはない強みを持った組織との協力が欠かせません。今回の学びがこれからの課題解決の取り組みに生かされることを願っています。



# 協働マガジン

21

Kyodo Station Chuo

取材を希望する登録団体&企業 募集中!

登録団体インタビュー vol.5

## 健康や医療を働く女性の「自分ごと」にする

女性の健康と活躍応援団

Womalth Power (築地)

代表 北奈央子さん



忙しく働く女性こそ、健康のことを考えてほしい

Womalth Powerは、女性が健康情報に触れる機会を増やすことを目的に活動する団体です。これまで10回ほど勉強会を開催してきました。例えば、妊娠回数が少ないことによる現代女性の子宮内膜症リスクの高まりはあまり知られていません。婦人科を受診する経験がない女性も多いです。私も社員当時、男性と同じ環境で働くことの難しさや、忙しい状況で健康を省みることの大切さを実感しました。このことから、特に働く女性のヘルスリテラシー向上の必要性を感じています。



医療を受ける人(=みんな)にとって重要なヘルスリテラシー

ヘルスリテラシーとは、健康情報を入手・理解し、判断し、活用するための意欲、能力のこと。健康を決める力ともいわれます。私はがんで友人を亡くしたのですが、治療の過程で手術をしない選択をした結果、症状が悪化し、それを後悔していました。この経験から、医療を受ける人が正しく十分な情報を得て、自分の価値観で決めることが大切と実感し、今に至ります。

専門家との接点や相談の機会を増やしたい

大病をした時、誰もが後悔のない判断をしたいと思います。しかし普段ちょっとした身体の不調に気づいても、相談や情報収集を後回しがち。日頃から専門家と接点があれば相談できるのと思っています。今後は、医師、看護師、栄養士等と健康や医療の情報を必要とする人をつなぐ専門家バンクや、そうした専門家の女性が働いたり訪れた人が気軽に相談したりできるシェアオフィス等も作りたいと考えています。



## 協働マガジン 21

協働ステーション中央は、(特活)NPOサポートセンターが中央区からの事業委託により運営しています。

協働ステーション中央

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町5-1 十思スクエア2階

TEL : 03-3666-4761 FAX : 03-3666-4762

E-mail : [info@kyodo-station.jp](mailto:info@kyodo-station.jp)

中央区社会貢献活動情報サイト : <http://chuo.genki365.net/>

開館時間 : 火曜～日曜 10:00～19:00 ※会議室利用のみ 9:00～21:00 (要予約)

休館日 : 月曜、年末年始、施設点検日

交通 駐車場はありませんので、車での来場はご遠慮下さい。  
東京メトロ日比谷線「小伝馬町」駅4番出口徒歩3分。江戸バス北循環「小伝馬町」下車徒歩4分



【団体HP】

<https://www.womalthpower.com/>

## 平成 29 年度 中央区協働事業提案特集 [1]

協働ステーション中央では、区内の公共的な課題を解決するため、中央区と社会貢献活動団体とが協働して事業を推進する協働提案事業をコーディネートしています。

### 子育てへのイライラや不安を共有、共感でつながりを生み出す

**提案団体:** 認定 NPO 法人エンパワメントかながわ  
**担当部局:** 福祉保健部子ども家庭支援センター  
**事業名称:** 子育てがラクになるワークショップ事業

#### いじめや虐待などの身近な暴力をなくす

認定 NPO 法人エンパワメントかながわは、一人ひとりが互いの人権を尊重し合い、いじめや虐待、性暴力など身近な暴力をなくそうと活動する団体。子どもへの暴力の防止や護身法、恋人間の暴力(デートDV)の予防に関するプログラム提供や、講師養成に力を入れています。



切さを学びました。グループワークで話し合ううちに、自分だけでないと気づくことも。それが「つながり」を生み出すきっかけになることがうかがえました。

#### 慣れない子育てへの苛立ち

参加者は、第一子の出産が30代後半～40代が大半。「子どもやパートナーにイライラする」「夫に早く仕事から帰ってきてほしい」「余裕がない」と感じているようでした。また、「子どものよいところが見つからないし共感できなかったけど、それでも家にいるよりはよかった」「子育てへのイライラは悪いことだと思っていたけど、違うんだよと言ってもらってとても楽になった」「子どもと離れることでリフレッシュできた」などの感想もありました。



認定 NPO 法人エンパワメントかながわ  
<http://npo-ek.org/>

#### 子育てがラクになると 子どもも安心して成長できる

今回実施したのは「子育てがラクになるワークショップ事業」。中央区では高層マンション建設で月島・勝どきエリアの人口が急増。とりわけ30～40代の子育て家庭が増加しています。密室育児による育児不安は児童虐待の引き金になります。子育て中の親たちが話し合うことでつながり、悩みを共有することで心や体がラクになる。その大切さを実感することで児童虐待の防止につなげようとする試みです。

#### 子育てしている私の気持ちも大事

今回のワークショップは、中央区子ども家庭支援センターから中央「あかちゃん天国」、新川児童館、佃児童館の3か所で行いました。原則全2回。佃児童館だけ3回開催し気持ちを語る時間を多く持ちました。オリジナルのワークブックで子どもとの向き合い方や自分の気持ちを大切にすることの

協働ステーション中央では、区内企業の社会貢献活動を取材しています。今回は京橋で、企業のCRM(顧客接点業務)領域の業務改革や、セールスフォースの新規導入・システム移行のコンサルティングを行う「株式会社アイエイエフコンサルティング」のチーム GOEN の皆さんに、NPO支援の取り組みについてお話を伺いました。

企業取材 第17回

株式会社アイエイエフコンサルティング(京橋)  
セールスフロントグループ  
事業部 チーム GOEN  
津田 はるなさん 林 康平さん 斉藤 千尋さん

#### ■ 御社の取り組みを教えてください。

弊社は、セールスフォース(営業支援・顧客管理アプリケーション)を活用した日本初のNPO向け支援者管理ソフト「GOEN DRM」を提供している企業です。2015年からスタートし、2年間で50団体のNPOに選ばれています。

#### ■ どのようなシーンで利用されているのでしょうか?

支援者とのコミュニケーションを一元管理したいNPOに選ばれています。クレジットカード募金を自分のホームページに簡単に設置でき、入力情報がセールスフォースのデータベースに自動的に入ります。登録情報から自動メールの返信、領収書の発行、お礼状の発行、支援者の分析結果をグラフ化できる機能もあります。寄付の情報だけでなく、ボランティアや物品寄付の登録もできます。

#### ■ 利用団体の反響はいかがですか?

毎月手作業で寄付者情報を入力していたNPOでは、セールスフォースとクレジットカード決済を連携したことで、3年で寄付金額が305%アップし、年間240時間削減の業務効率化につながったケースもあります。



「ふじぼんの笑ってチャリティ」寄付つきLINEスタンプもあります。スタンプして寄付の楽しさを一緒に広げてくださいね。



#### ■ 従業員の皆さんが積極的に関わっているそうですね。

20名以上の従業員が関わる「チーム GOEN」は、CRMとファンドレイジング(資金調達)の専門家集団として、本業を通じた社会貢献に取り組んでいます。メンバー全員がセールスフォースの認定資格保持者です。また、NPOの資金調達の技能検定で難易度が高いとされる「認定ファンドレイザー」資格を保持する2名をはじめ、メンバー全員が「准認定ファンドレイザー」資格保持者です。(2017年9月現在)

#### ■ 今後の展開について教えてください。

チーム GOEN はシステム導入というハード面にとどまりません。寄付文化の醸成をめざし、ソフト面の貢献も大切にしています。マスコットキャラの「ふじぼん」とともに、子どもたちに寄付の楽しさを広げる活動を行っています。ふじぼんは、寄付月間公式マスコットの就任、中高生と共同企画による寄付つきLINEスタンプの発売、子ども向けのイベントへの参加など、多方面に活躍の場を広げています。私たちらしいやり方でNPO業界発展に貢献し続けてまいります。

#### 【所在地】

東京都中央区京橋3-13-10 中島ゴールドビル4F  
TEL: 03-3538-8277(代表)

<http://www.iafc.co.jp/>

GOEN DRM | チームGOEN

<http://goen.org>

ふじぼん

検索